

下水処理場等包括の維持管理業務委託

業務要求水準書
(処理場等)

目 次

1	水量等の処理実績及び予定	1
(1)	四屋浄化センター	1
(2)	伏木浄化センター	2
(3)	松太枝浜浄化センター	4
(4-1)	農業集落排水処理施設（佐加野浄化センター）	5
(4-2)	農業集落排水処理施設（般若野東部浄化センター）	6
(4-3)	農業集落排水処理施設（勝木原浄化センター）	7
(4-4)	農業集落排水処理施設（西広谷浄化センター）	8
(4-5)	農業集落排水処理施設（西五位西部センター）	9
(4-6)	農業集落排水処理施設（西五位南部センター）	10
(4-7)	農業集落排水処理施設（西五位北部センター）	11
(5)	中継ポンプ場	12
(6)	マンホールポンプ場	13
2	維持管理要求水準	14
(1)	処理場施設の運転、監視に関する業務要求水準	14
(2)	ポンプ場施設(合流、分流及び雨水)の運転操作、監視に関する業務要求水準	14
(3)	設備の保守点検に関する業務要求水準	15
(4)	施設管理に関する業務要求水準	15
(5)	業務実施体制に関する業務要求水準	15
(6)	エネルギー管理及び温室効果ガスに関する業務要求水準	15
(7)	水質等試験に関する業務要求水準	15
(8)	環境対策に関する業務要求水準	15
(9)	修繕に関する業務要求水準	16
(10)	物品等の調達・管理に関する業務要求水準	16

1. 水量等の処理実績及び予定

(1) 四屋浄化センター

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m ³ /年)		15,621,262		16,066,735		14,718,237		15,641,445		16,809,034	
日平均流入水量 (m ³ /日)		42,798		44,018		40,324		42,736		46,052	
日最大流入水量 (m ³ /日)		116,706		115,057		114,025		114,935		121,698	
同 発生日、日 (月・日)		1 月 23 日		12 月 19 日		1 月 24 日		1 月 23 日		1 月 30 日	
日最少流入水量 (m ³ /日)		21,272		20,878		20,629		21,109		19,475	
同 発生日、日 (月・日)		3 月 19 日		3 月 11 日		4 月 4 日		11 月 9 日		3 月 14 日	
晴天時日平均流入水量 (m ³ /日)		27,224		26,841		26,866		28,727		28,749	
晴天時日最大流入水量 (m ³ /日)		33,488		35,551		37,326		46,345		37,003	
水質		採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)	13	94	16	94	14	97	17	99	16	95
	pH	7.3	6.9	7.2	6.9	7.2	6.7	7.3	7	7.2	7
	BOD (mg/l)	80	5.2	75	4.1	80	4.1	41	3.8	62	3.3
	COD (mg/l)	23	5.4	28	4.8	34	4.9	19	4.4	24	4.7
	SS (mg/l)	54	3	42	3	73	3	58	2	55	3
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	49	—	4	—	9	—	<1	—	3

※ 1 年平均の水質は、2 回/月実施した分析の年間平均値。

※ 2 処理方式は、標準活性汚泥法により処理を行っている。

※ 3 雨天時流入水は、雨天時活性汚泥法により全量高級処理を行っている。

② 汚泥処理実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m ³ /年)	30,256	30,840	32,483	29,667	23,599
処理DS量 (DSt/年)	784	845	870	758	636
搬出DS量 (DSt/年)	901	959	1,009	900	775

※ 搬出DS量は、四屋、伏木、松太枝浜の各処理場から発生する汚泥を搬出している。

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度	R8	R9
年間流入水量 (千m ³ /年)	16,144	16,298
晴天時日平均流入水量 (m ³ /日)	28,669	28,951
発生DS量 (DSt/年)	699	676
搬出DS量 (DSt/年)	836	815

※ 搬出汚泥は、四屋、伏木、松太枝浜の各処理場の発生汚泥を含む。

② 流入水質等

※ 予定値は参考とする。

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	COD (mg/l)	200 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

③ 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千 kwh/年)	2,906	2,934
次亜塩素酸ソーダ (kg/年)	13,561	13,527
高分子凝集剤 (kg/年)	4,746	4,637
汚泥搬出 (回/年)	677	668

※ 次亜塩素酸ソーダの使用量は有効塩素量換算値とする。

(2) 伏木浄化センター

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度			R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m³/年)			1,765,734		1,800,985		1,891,890		2,187,605		2,715,867	
日平均流入水量 (m³/日)			4,838		4,934		5,183		5,977		7,441	
日最大流入水量 (m³/日)			12,654		13,946		13,944		12,190		15,673	
同 発生月、日 (月・日)			7 月 7 日		8 月 13 日		8 月 20 日		6 月 2 日		11 月 29 日	
日最少流入水量 (m³/日)			2,586		2,908		2,762		2,882		4,279	
同 発生月、日 (月・日)			10 月 18 日		4 月 12 日		6 月 23 日		10 月 13 日		3 月 31 日	
晴天時日平均流入水量 (m³/日)			3,421		3,589		3,865		3,870		6,488	
晴天時日最大流入水量 (m³/日)			7,355		5,428		6,650		5,974		7,733	
水質			採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)		13	99	17	98	16	95	15	93	19	86
	pH		7.2	6.8	7.1	6.8	7.1	6.7	7.1	7.0	6.8	7.0
	BOD (mg/l)		77	4.0	57	3.6	88	3.7	38	3.8	49	2.9
	COD (mg/l)		26	4.9	23	4.6	28	4.5	19	4.1	19	4.0
	SS (mg/l)		43	2	34	2	44	2	47	3	45	3
	大腸菌群数 (個/cm³)		—	12	—	4	—	43	—	24	—	23

※ 1 年平均の水質は、2 回/月実施した分析の年間平均値。

※ 2 処理方式は、標準活性汚泥法により処理を行っている。

※ 3 雨天時流入水は、雨天時活性汚泥法により全量高級処理を行っている。

※ 4 上記表の流量に関するものは、流入ゲートからによるものである。R 4 年度より、冷却排水を曝気槽より受入れをしている。

② 汚泥処理実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m ³ /年)	4,291	3,958	5,170	5,348	4,639
処理DS量 (DSt/年)	88	86	111	116	113

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度	R8	R9
年間流入水量 (千 m ³ /年)	2,527	2,665
晴天時日平均流入水量 (m ³ /日)	4,742	4,999
発生DS量 (DSt/年)	106	107

※ 年間流入水量及び晴天時日平均流入水量は、流入ゲートからによる流入分である。これ以外に、R 8 年度以降も 1200 m³/日程度の冷却排水を曝気槽より受入れ予定である。

② 流入水質等

※ 予定値は参考とする。

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	COD (mg/l)	200 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

③ 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千 kwh/年)	505	506
次亜塩素酸ソーダ (kg/年)	708	666
高分子凝集剤 (kg/年)	584	589
汚泥搬出 (回/年)	191	192

※ 次亜塩素酸ソーダの使用量は有効塩素量換算値とする。

(3) 松太枝浜浄化センター

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m ³ /年)		266,743		269,419		257,411		253,553		261,188	
日平均流入水量 (m ³ /日)		731		738		705		693		716	
日最大流入水量 (m ³ /日)		1,338		1,634		1,249		1,430		1,175	
同 発生月、日 (月・日)		7 月 7 日		8 月 13 日		8 月 20 日		5 月 7 日		5 月 28 日	
日最少流入水量 (m ³ /日)		602		607		583		351		550	
同 発生月、日 (月・日)		4 月 10 日		10 月 9 日		6 月 10 日		1 月 2 日		9 月 13 日	
水質		採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)	4.5	99	4.1	100	3.8	99	4.7	100	3.9	100
	pH	7.5	7.0	7.3	7.0	7.2	7.0	7.2	7.1	7.2	7.1
	BOD (mg/l)	260	2.9	220	2.6	170	2.5	150	2.4	240	1.6
	COD (mg/l)	58	6.4	58	6.1	58	6.4	43	5.7	62	5.8
	SS (mg/l)	160	2	110	1	120	1	150	2	170	1
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	2	—	7	—	40	—	90	—	35

※1 年平均の水質は、2 回/月実施した分析の年間平均値。

※2 処理方式は、オキシデーションディッチ法により処理を行っている。

② 汚泥処理実績

年度		R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m ³ /年)		1,587	1,560	1,609	1,560	1,362
処理DS量 (DSt/年)		30	29	29	26	27

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度		R8	R9
年間流入水量 (千m ³ /年)		257	257
発生DS量 (DSt/年)		27	27

② 流入水質等

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	COD (mg/l)	200 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

※ 予定値は参考とする。

③ 変動費参考量

年度		R8	R9
電力量 (千 kwh/年)		180	180
固形滅菌剤 (kg/年)		157	157
高分子凝集剤 (kg/年)		326	326
汚泥搬出 (回/年)		156	156

(4-1) 農業集落排水処理施設 (佐加野浄化センター)

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m ³ /年)		149,253		151,516		147,430		155,699		152,614	
日平均流入水量 (m ³ /日)		409		415		404		425		418	
日最大流入水量 (m ³ /日)		564		746		584		650		556	
日最少流入水量 (m ³ /日)		333		333		303		312		305	
水質		採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)	6.6	100	5.4	100	6.0	98	6.7	98	6.5	94
	pH	7.4	6.7	7.6	6.8	7.5	7.0	7.6	6.9	7.6	6.9
	BOD (mg/l)	260	2.4	310	1.8	300	2.5	240	3.5	220	4.5
	SS (mg/l)	180	2	220	2	140	2.3	150	2.1	100	2.8
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	30	—	30	—	30	—	30	—	30

※1 年平均の水質は、月1回実施した分析の年間平均値。

※2 処理方式は、オキシデーションディッチ法により処理を行っている。

② 汚泥処理実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m ³ /年)	1,068	1,185	1,104	1,045	1,166
処理DS量 (DSt/年)	15	14	14	13	13

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度	R8	R9
年間流入水量 (千m ³ /年)	153	154
発生DS量 (DSt/年)	13	13

② 流入水質等

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

※ 予定値は参考とする。

③ 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千kwh/年)	110	109
固形滅菌剤 (kg/年)	52	52
高分子凝集剤 (kg/年)	218	218
汚泥搬出 (回/年)	87	87

(4-2) 農業集落排水処理施設（般若野東部浄化センター）

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m ³ /年)		31,013		30,755		30,414		30,248		29,874	
日平均流入水量 (m ³ /日)		85		84		83		83		82	
日最大流入水量 (m ³ /日)		100		95		90		96		107	
日最少流入水量 (m ³ /日)		76		77		74		69		71	
水質		採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)	4.8	53	6.3	76	5.7	62	5.6	61	4.8	65
	pH	7.1	7.1	7.1	7.1	7.2	7.1	7.0	7.0	7.2	6.9
	BOD (mg/l)	170	12	180	8.3	190	8.0	170	8.5	200	7.0
	SS (mg/l)	160	5	160	2	220	2.2	210	2.7	260	2.3
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	160	—	100	—	30	—	30	—	30

※1 年平均の水質は、月1回実施した分析の年間平均値。

※2 処理方式は、沈殿分離・接触曝気法により処理を行っている。

② 汚泥処理実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m ³ /年)	61	61	60	61	62

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度	R8	R9
年間流入水量 (千m ³ /年)	30	30
発生汚泥量 (m ³ /年)	61	61

② 流入水質等

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

※ 予定値は参考とする。

③ 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千kwh/年)	30	30
固形滅菌剤 (kg/年)	9	9

(4-3) 農業集落排水処理施設（勝木原浄化センター）

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m³/年)		4,695		4,589		4,226		4,485		4,501	
日平均流入水量 (m³/日)		13		13		12		12		12	
日最大流入水量 (m³/日)		18		20		19		20		21	
日最少流入水量 (m³/日)		10		9		9		8		7	
水質		採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)	6.3	81	6.3	75	6.1	79	6.5	70	6.1	64
	pH	7.4	6.8	7.5	7.0	7.5	7.2	7.5	7.1	7.6	7.2
	BOD (mg/l)	280	7.8	210	7.3	180	5.0	290	8.9	230	7.3
	SS (mg/l)	230	3	97	3	63	2.5	200	3.8	180	3.8
	大腸菌群数 (個/cm³)	—	30	—	30	—	30	—	30	—	30

※1 年平均の水質は、月1回実施した分析の年間平均値。

※2 処理方式は、沈殿分離・接触曝気法により処理を行っている。

② 汚泥処理実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m³/年)	35	36	35	35	36

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度	R8	R9
年間流入水量 (千m³/年)	4	4
発生汚泥量 (m³/年)	36	36

② 流入水質等

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

※ 予定値は参考とする。

③ 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千kwh/年)	11	11
固形滅菌剤 (kg/年)	13	13

(4-4) 農業集落排水処理施設（西広谷浄化センター）

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m ³ /年)		12,018		10,959		10,732		9,704		10,200	
日平均流入水量 (m ³ /日)		33		30		29		27		28	
日最大流入水量 (m ³ /日)		68		58		60		48		46	
日最少流入水量 (m ³ /日)		24		22		23		22		21	
水質		採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)	7.5	60	8.0	58	100	74	8.4	73	6.2	74
	pH	7.2	6.5	7.3	6.8	7.3	7.1	7.4	6.9	7.2	6.8
	BOD (mg/l)	150	12	150	10	16	11	150	12	190	8.9
	SS (mg/l)	110	4	110	4	150	2.3	93	3.1	110	2.6
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	30	—	30	—	30	—	30	—	30

※1 年平均の水質は、月1回実施した分析の年間平均値。

※2 処理方式は、沈殿分離・接触曝気法により処理を行っている。

② 汚泥処理実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m ³ /年)	50	50	50	53	51

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度	R8	R9
年間流入水量 (千m ³ /年)	10	10
発生汚泥量 (m ³ /年)	52	52

② 流入水質等

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

※ 予定値は参考とする。

③ 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千kwh/年)	12	12
固形滅菌剤 (kg/年)	11	11

(4-5) 農業集落排水処理施設（西五位西部センター）

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m ³ /年)		83,144		88,870		72,566		71,199		69,854	
日平均流入水量 (m ³ /日)		228		244		199		195		191	
日最大流入水量 (m ³ /日)		382		458		320		277		270	
日最少流入水量 (m ³ /日)		174		179		199		154		151	
水質		採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)	7.1	63	6.9	60	7.8	79	7.1	82	6.4	76
	pH	7.3	7.3	7.3	7.3	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4
	BOD (mg/l)	210	17	180	16	160	14	180	13	240	16
	SS (mg/l)	110	4	150	4	71	2.7	100	2.6	200	2.5
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	77	—	50	—	30	—	30	—	30

※1 年平均の水質は、月1回実施した分析の年間平均値。

※2 処理方式は、嫌気性ろ床・接触曝気法により処理を行っている。

② 汚泥処理実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m ³ /年)	104	104	104	104	104

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度	R8	R9
年間流入水量 (千m ³ /年)	79	79
発生汚泥量 (m ³ /年)	104	104

② 流入水質等

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

※ 予定値は参考とする。

③ 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千kwh/年)	67	67
固形滅菌剤 (kg/年)	17	17

(4-6) 農業集落排水処理施設（西五位南部センター）

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m ³ /年)		52,588		51,713		49,618		49,684		48,743	
日平均流入水量 (m ³ /日)		144		142		136		136		134	
日最大流入水量 (m ³ /日)		193		168		176		164		162	
日最少流入水量 (m ³ /日)		129		128		121		123		119	
水質		採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)	6.3	97	6.2	86	6.9	92	7.4	97	7.7	98
	pH	7.3	7.3	7.4	7.3	7.4	7.4	7.5	7.4	7.5	7.4
	BOD (mg/l)	230	14	250	13	220	13	220	9.5	220	10
	SS (mg/l)	150	2	160	2	160	2.2	150	2	110	<1
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	30	—	30	—	30	—	30	—	30

※1 年平均の水質は、月1回実施した分析の年間平均値。

※2 処理方式は、嫌気性ろ床・接触曝気法により処理を行っている。

② 汚泥処理実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m ³ /年)	89	89	74	89	90

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度	R8	R9
年間流入水量 (千m ³ /年)	49	48
発生汚泥量 (m ³ /年)	87	87

② 流入水質等

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

※ 予定値は参考とする。

③ 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千kwh/年)	43	44
固形滅菌剤 (kg/年)	20	18

(4-7) 農業集落排水処理施設（西五位北部センター）

ア 水量等の処理実績

① 水量及び水質実績

年度		R2		R3		R4		R5		R6	
年間流入水量 (m ³ /年)		84,323		87,979		90,513		91,193		76,208	
日平均流入水量 (m ³ /日)		231		241		248		249		209	
日最大流入水量 (m ³ /日)		298		285		313		342		227	
日最少流入水量 (m ³ /日)		209		203		221		198		193	
水質		採水箇所		流入		放流		流入		放流	
年平均	透視度 (cm)	5.2	87	4.6	86	5	88	5.2	89	4.6	90
	pH	7.4	7.3	7.5	7.4	7.5	7.4	7.6	7.5	7.6	7.5
	BOD (mg/l)	290	17	340	15	280	13	280	14	320	13
	SS (mg/l)	200	3	270	2	220	1.6	160	1.8	180	<1
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	63	—	54	—	30	—	30	—	30

※1 年平均の水質は、月1回実施した分析の年間平均値。

※2 処理方式は、嫌気性ろ床・接触曝気法により処理を行っている。

② 汚泥処理実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
処理汚泥量 (m ³ /年)	101	104	104	104	90

イ 流入水等の予定

① 流入水量等

年度	R8	R9
年間流入水量 (千m ³ /年)	83	83
発生汚泥量 (m ³ /年)	96	95

② 流入水質等

年度		R8	R9
日平均 流入水質	pH (mg/l)	6 ~ 8	
	BOD (mg/l)	300 以下	
	SS (mg/l)	500 以下	

※ 予定値は参考とする。

③ 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千kwh/年)	78	78
固形滅菌剤 (kg/年)	19	19

(5) 中継ポンプ場

ア 送水量等の実績

① (汚水) 送水量実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
年間汚水総送水量 (m ³ /年)	3,430,000	3,435,000	3,270,000	3,399,000	3,526,000
問屋センターポンプ場 (m ³ /年)	78,000	72,000	61,000	62,000	77,000
木津汚水中継ポンプ場 (m ³ /年)	736,000	749,000	725,000	741,000	785,000
伏木汚水中継ポンプ場 (m ³ /年)	509,000	514,000	488,000	499,000	514,000
中田汚水中継ポンプ場 (m ³ /年)	742,000	742,000	723,000	774,000	770,000
住吉ポンプ場 (m ³ /年)	1,365,000	1,358,000	1,273,000	1,323,000	1,380,000
日平均送水量 (m ³ /日)	9,397	9,411	8,959	9,312	9,660

② (雨水) 排水量実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
年間雨水総排水量 (m ³ /年)	25,000	23,500	102,700	230,800	66,000
住吉ポンプ場 (m ³ /年)	9,000	7,800	24,900	79,000	5,500
大井雨水ポンプ場 (m ³ /年)	16,000	15,700	77,800	151,800	60,500

イ 送水等の予定

① 送水量等

年度	R8	R9
年間汚水総送水量 (千m ³ /年)	3,439	3,457
年間雨水総排水量 (m ³ /年)	90,000	90,000

② 変動費参考量

年度	R8	R9
電力量 (千 kwh/年)	413	415

(6) マンホールポンプ場

ア 送水量実績

① 送水量実績（公共下水道）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
年間送水量 (m ³ /年)	2,630,558	2,563,577	2,437,864	2,449,055	2,435,167
日平均送水量 (m ³ /日)	7,187	7,023	6,679	6,710	6,672
ポンプ場数 (箇所)	105	104	103	103	103

② 送水量実績（農業集落排水）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
年間送水量 (m ³ /年)	454,773	464,612	458,814	476,940	550,046
日平均送水量 (m ³ /日)	1,243	1,273	1,257	1,277	1,507
ポンプ場数 (箇所)	23	23	23	23	23

イ 送水等の予定

① 送水量等

年度	R8	R9
公共下水道年間送水量 (千m ³ /年)	2,456	2,463
農業集落排水年間送水量 (千m ³ /年)	521	534

② 変動費参考量（公共下水道）

年度	R8	R9
電力量 (千 kwh/年)	295	296

③ 変動費参考量（農業集落排水）

年度	R8	R9
電力量 (千 kwh/年)	37	32

2. 維持管理要求水準

(1) 処理場施設の運転、監視に関する業務要求水準

水質等の要求基準は、契約基準及び提案基準とし、水処理を有効な状態に保つよう運転すること。汚泥設備については、腐敗等の汚泥状況を監視し、水処理に悪影響を及ぼさないよう運転すること。設備機器についても支障の無いよう管理すること。

ア 放流水要求基準

- I ペナルティ基準は、受託者が遵守しなければならない基準である。
- II 契約基準は、受託者が達成しなければならない契約上の年間平均値基準。
(委託者による計測値を単純平均して算出する。)
- III 提案基準は、自らの提案により受託者が達成しなければならない契約上の基準。
- IV ペナルティ基準、契約基準に関する計測は、委託者若しくは委託者の指示により受託者が実施する。
- V 提案基準の計測は、受託者の提案に基づく方法により受託者又は委託者が実施する。

① 公共下水処理場

項 目	単位	ペナルティ基準	契約基準	提案基準
pH		5.8 ～ 8.0	6 ～ 8	—
BOD	mg/l	15 以下	12 以下	—
COD	mg/l	—	15 以下	—
SS	mg/l	35 以下	8 以下	—
大腸菌数	CFU/ml	720 以下	650 以下	—

② 農業集落排水処理施設

項 目	単位	ペナルティ基準	契約基準	提案基準
pH		5.8 ～ 8.0	6 ～ 8	—
BOD	mg/l	20 以下	20 以下	—
SS	mg/l	50 以下	20 以下	—

イ その他の要求基準

- I 運転操作及び監視業務は、変化する処理条件に対しても施設の性能等を踏まえた適正な処理を行うとともに当該施設の延命化に資する適切な運転操作及びこれを安定して維持するための監視を継続的に行うこと。
- II 受託者は、自らが行う環境計測その他により、水質等の基準の未達成のおそれ等が判明した場合は、直ちに委託者に報告するとともに、その他の措置について適切に対処すること。
- III 前項において、委託者の指示に基づく運転変更等に起因する場合は、委託者が認めるその範囲において、この要求水準を適用しない。
- IV 公共下水道においては、高岡市の下水道事業計画（最新版）の水量の受入れを必須とし、現有能力までの水量の受入れを努力義務とし、可能な限り受入れを行うこと。
- V 上記、実施内容的確性が説明できるデータを収集、整理し、常備すること。

(2) ポンプ場施設(合流、分流及び雨水)の運転操作、監視に関する業務要求水準

- ア 対象施設の性能等を十分理解し、大雨、異常流入、停電に対しても、浸水被害を発生させたり、汚水を溢水することがないように、適切な運転操作、監視を実施するとともに、必要に応じて現場出動による適切な対応を行うこと。
- イ 対象施設の性能等を十分理解し、ポンプ場及びポンプ場の下流部に過負荷を生じないように、効率的な運転、監視を実施すること。
- ウ 上記の業務にて、異常、不良を発見した場合には、直ちに委託者に報告するとともに、適切な処理を講ずること。
- エ 上記、実施内容的確性が説明できるデータを収集、整理し、常備すること。

- (3) 設備の保守点検に関する業務要求水準
- ア 設備機器について、全設備機器等有している機能を正常に発揮し、かつ、各設備機器の機能を維持するための、日常点検、定期点検、臨時点検、小規模修繕の実施計画を作成すること。
 - イ 設備機器について、各設備機器等有している機能を正常に発揮するよう日常点検、定期点検、臨時点検を通し、機能の確認、整備、小規模修繕を行うこと。
 - ウ 点検等で異常・不良あるいは毀損等を発見した場合には、直ちに委託者に報告するとともに、適正な処置を講ずること。
 - エ 異常・不良等を発見した場合は、修繕の前に調査等を行い、原因を特定し、委託者に報告書を提出すること。
 - オ 上記、実施内容的確性が説明できるデータを収集、整理し、常備すること。
- (4) 施設管理に関する業務要求水準
- ア 施設管理に関する業務内容を年間計画に基づいて、適時、適切に執行すること。
 - イ 敷地内、建物内は整理整頓及び清掃を行い、良好な環境を保つこと。維持管理上で発生する不要物は処分すること。
 - ウ 盗難、第三者の侵入、火事等の事故、事件が無きよう管理を行うこと。
 - エ 業務の点検結果等で異常が確認された場合は、直ちに委託者に報告するとともに、修繕その他適正な処置を講ずること。
 - オ 上記、実施内容的確性が説明できるデータを収集、整理し、常備すること。
- (5) 業務実施体制に関する業務要求水準
- ア 通常時実施体制
業務履行に必要な有資格者を適切に配置するとともに、総括責任者の他、運転管理業務、保全管理業務の業務ごとの責任者・担当者の組織体制(人員体制・人員配置)を整えること。
 - イ 緊急時実施体制
夜間・休日・機器故障・事故・労働災害時、火災発生時、薬品漏洩時、設備異常時、放流水質異常時等の緊急連絡体制及び出動態勢を確保し、緊急時には速やかな処置が行えること。
電話番号、連絡順位、病院・警察・電力会社・電話会社・燃料販売会社等の連絡先を整理しておくこと。
 - ウ 災害時配置体制
地震発生時の配備体制・参集基準・配備内容を確保すること。
大雨時の配備体制・参集基準・配備内容を確保し、速やかな対応を行うこと。
- (6) エネルギー管理及び温室効果ガスに関する業務要求水準
- ア 受託者はエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づき、原単位を内燃、年平均1%以上、低減することに留意した管理に努めること。
 - イ 上記、実施内容的確性が説明できるデータを収集、分析、整理し、常備すること。
- (7) 水質等試験に関する業務要求水準
- ア 下水終末処理場及び農業集落排水処理施設等における採取箇所、採取方法、試験項目及び頻度は特記事項説明書(処理場等)の記載内容を標準とする。
 - イ 前記アによらず日常の維持管理において、水質の総合的な把握並びに反応タンク内の状況把握、汚泥搬出工程の状況把握等に必要となる水質分析を適宜行うこと。
 - ウ 水質試験及び汚泥試験は日本工業規格(JIS)並びに社団法人日本下水道協会制定の「下水試験方法」に基づき、実施すること。
 - エ 水質計測機器や水質モニター計の維持管理を適正に行い、その測定値の信頼性を確保すること。
 - オ その他維持管理上必要な試験及び業務を行うとともに、委託者が実施する法定検査に対する協力を行うこと。
 - カ 合流式下水道処理区においては、「合流式下水道の雨天時放流水質基準についての水質検査マニュアル」第3章の項目(雨水吐の吐口採水を除く)を全て行うこと。
 - キ 上記、実施内容的確性が説明できるデータを収集、整理し、常備すること。

- (8) 環境対策に関する業務要求水準
- ア 悪臭、騒音の発生その他環境影響被害を防止するため、設備の運転方法、保守点検、作業方法、機能確認等を適切に行うほか、発生源及び敷地境界等において、五感により又は測定器により測定を適宜実施し、良好な環境を保全すること。
 - イ 測定結果等に異常が確認された場合は、直ちに委託者に報告するとともに測定頻度を増すなど監視の強化を行うほか、効果的な改善策を実施すること。
 - ウ 委託者が運用している環境保全活動(C-EMS)環境マネジメントシステムに対し可能な限り協力すること。
 - エ 上記、実施内容的確性が説明できるデータを収集、整理し、常備すること。
- (9) 修繕に関する業務要求水準
- ア 当該施設並びに設備の機能が正常に発揮、維持できるように、委託者の承諾を得て、必要性、修繕内容、効果等を考慮の上、適切に修繕を実施すること。
 - イ 修繕に使用する部品等は、仕様変更による性能低下とならないように実施する。
 - ウ 設備等の故障、不良、破損などが生じた場合は、委託者の承諾を得て、適宜補修などを実施し、その機能の回復を図ること。
 - エ 委託者による指摘、提案による修繕を両者協議の上、実施すること。
 - オ 委託終了時における施設の現状回復のための補修を含むものとする。
 - カ 修繕実施後の履歴を整理し、委託者に報告すること。
 - キ コスト削減となる検討、工夫に努めること。
 - ク 技術力の維持及び緊急時に迅速に対応できるようにするため、可能な限り維持管理体制内で実施するよう努めること。
 - ケ 上記、実施内容的確性が説明できるデータを収集、整理し、常備すること。
- (10) 物品等の調達・管理に関する業務要求水準
- ア 適正な品質及び規格の物品等を使用し、施設機器の運転、耐用年数等に影響を与えないようにすること。
 - イ 常に在庫数量等を把握して適宜適切に調達し、在庫不足、品質低下等による施設運転等への支障を与えないようにすること。
 - ウ 物品管理者及び薬品類の管理者を選任し、保管、取扱等には十分注意して適正な管理を行うこと。
 - エ 計量証明書、品質証明書等の書類(写し)及び化学物質安全性データシート(写し)を、委託者に提出すること。
 - オ 業務の履行開始日に支給する燃料、工業薬品、電気機械消耗品類、分析用薬品、分析器具等の貸与品については、その種類、規格、数量等を借用書に記載し、委託者に提出すること。
 - カ 契約終了にあたっては、業務の履行開始日に支給された貸与品は、支給時の規格のものを、支給時の在庫量に服すること。
 - キ コスト削減となる検討、工夫に努めること。
 - ク 漏洩時に危険又は環境に影響を及ぼす薬品(特に劇薬)、石油類、ガス類等においては、特に十分な管理を行うとともに、事故の際の対応マニュアルの作成及び訓練を実施すること。
 - ケ 物品等の調達、管理についての的確性が説明できるデータを収集、整理し、常備すること。